

第56回佐賀県防災会議 議事要旨

1 日 時：令和3年3月24日（水） 14：00～16：00

2 場 所：佐賀県庁新館11階 大会議場

3 出席者：委員39名、代理人22名、欠席8名

4 会議に付した案件
佐賀県地域防災計画の修正

5 会議の経過

(1) 開会

(2) 会長挨拶

(3) 議事

議題 佐賀県地域防災計画の修正

(4) 報告事項

報告1…県の防災の取組

・防災アクション推進事業

・航空消防防災体制の整備

報告2…佐賀県地方気象台から

報告3…唐津海上保安部から

報告4…九州地方整備局から

報告5…福岡財務支局 佐賀財務事務所から

報告6…佐賀県国際交流協会から

(5) 意見交換（フリートーク）

(6) 閉会

6 議決事項

佐賀県地域防災計画の修正について、原案のとおり承認された

7 会議要旨

(1) 会長挨拶（山口知事）

本日は年度末のあわただしい中をお集まり頂き感謝。

自助・共助・公助という考え方は、災害の時には大事な考え方。大きな災害になると公助には限界があるという事を共通認識しておかなければならない。

女性の委員について、全国平均が 16.1%に対し、佐賀県は 27.1%。現在 27%なので全国平均の倍の 32%ぐらいまで増えるべく、推薦頂いて、自由活発に様々な皆で議論していきたいと思っている。

3月28日は佐賀県で消防防災ヘリコプターが運用開始。空から防災体制をとる事が出来、初期段階から確認ができるというメリットがある。

4月には人事異動があるので、スムーズにしっかり各機関が役割を果たせるように、皆で気を付けていきたい。

(2) 議事

事務局：議題「佐賀県地域防災計画の修正」について説明
<原案どおり可決。>

(3) 報告事項

事務局（危機管理防災課）：

県の防災の取組

- ・防災アクション推進事業
 - ・航空消防防災体制の整備
- について説明

佐賀地方気象台：報告2について説明

唐津海上保安部：報告3について説明

国土交通省 九州地方整備局：報告4について説明

福岡財務支局 佐賀財務事務所：報告5について説明

公益財団法人佐賀県国際交流協会：報告6について説明

(4) 意見交換（フリートーク）

佐賀県地域婦人連絡協議会

先程最初に女性の登用が佐賀県は 27%というお話でだったが、確かに九州7県で佐賀県が1番登用率高い。しかし市町の方は福岡より低い。

市町の方から盛り上げていくような感じで、市町に女性の委員を登用するように是非呼びかけをお願いしたい。直接死、命を守るということでいろんな計画をされているようですが、実は災害時に亡くなる率というのは直接死よ

り災害関連死の方が多い。熊本地震では直接死の4倍の方が災害関連死で亡くなっている。

避難所運営このマニュアル本をしっかりと県の方も作成されるということでしたけども、市町でも、女性・男性の視点の避難所運営マニュアルを作っていたきたい。

議長（会長・山口 知事）

基本的にいろんな方々が避難所にも行かれるので、いろんな考え方、男女だけではなくて、外国人、障害の方もいる。多種多様な方々の議論が出来るような環境を整えるべきだと思う。

佐賀県町村会

いろいろと工夫しながら女性の数が増えるように図っているところ。女性の視点はいろいろなところで、着実に増えており、特に防災避難所については女性の視点が1番大事だと思うので、そこが落ちないように頑張っていきたい。

議長（会長・山口 知事）

女性委員を増やすことはとても大事なことだと思うので、また一緒に皆で考えていきたい。

株式会社サガテレビ

去年の災害・水害を契機に月に2回程夕方ニュースで防災に関する企画を定期的なずっと行っている。各地に残るいろんな水害などの話が随分溜まっているので、学校の防災教育や、いろんな組織での防災教育をしたいという要望があれば、無料での貸し出しが可能。

議長（会長・山口 知事）

佐賀県は企業誘致でよく使う言葉があって、明治に入って以降、震災・地震で亡くなった方が1人もいない。ということは逆にそれだけ皆の備えというのはきちんとしているだろうかというところの不安もある。

今後とも委員の皆様方になお一層のご協力を頂くことになると思うので、よろしくお願ひしたい。